

## 前橋市公営住宅等長寿命化計画（案）に関するパブリックコメント実施結果

前橋市建築住宅課 電話027（898）6834

前橋市公営住宅等長寿命化計画（案）について、パブリックコメント（意見募集）を行いましたので、その結果を公表します。

意見募集期間 … 令和3年2月15日（月）から令和3年3月15日（月）まで  
意見提出者数 … 1名  
意見の件数 … 3件

取りまとめの都合上、いただいたご意見を要約し、市の考え方を説明しています。なお、今回いただいたご意見については、市の考え方を示すにとどまり、案の修正には至りませんでした。今後の施策の参考にしてまいります。

大変貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

### 〈省エネの工法等に関する意見〉

	パブリックコメントによる意見等	意見に対する市の考え方
1	<p>○環境性能に圧倒的に勝る樹脂サッシ</p> <p>前橋市は赤城山湖畔域を含めると省エネ基準地域区分は1～5地域相当の広範囲に渡り、建物の快適性の担保にはコストパフォーマンスの高い高性能樹脂サッシの検討が必要不可欠と思える。国内でこれほど多様な自然環境を有し、多種多様な樹脂サッシが身近に選択・調達できる都市を小生は知らない。若しかすると樹脂サッシは、「2050年カーボンニュートラルの実現」に向けた前橋ブランドの可能性もありうる。</p>	<p>長寿命化計画を策定するにあたっての基本的な方針として、本計画では施策の方向性を示すこととし、具体的な工法等については、建替時の設計の中で、検討することで考えています。</p> <p>従いまして、今回のご意見については、今後の建替時の設計の際に、検討してまいりたいと考えております。</p>
2	<p>○建物の断熱は外断熱が国際的に常識（特にRC造、CB造）</p> <p>建物の耐久性向上には、構造部材の高耐久化は欠くことが出来ない。日本の建物と異なり欧米建物の断熱は外断熱が常識です。その理由としては断熱層を構造躯体の外側に構成することで次の利点が考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 躯体が厳しい自然気候や温熱環境から保護され、その耐久性向上が期待できる。</li><li>② 外部突起がなければ熱橋部や断熱面積が少なく施工容易且つ経済的。</li><li>③ 躯体は室内の蓄熱材として利用でき、より快適な室内環境が構成できる。</li></ul> <p>一方欠点としては</p> <ul style="list-style-type: none"><li>① 多少コストアップの懸念がある。</li></ul>	

	<p>②殆どの施主を含め建設関係者が良質な温熱環境未体験者で、且つ前例至上主義者であることや環境物理系の知識不足から業務作業量や工事予算増大の危惧が先行し、外断熱が挑戦対象課題にならない。</p> <p>② 施工上の「温熱・換気環境知識の習得」や「慣れ」が必要。 等が上げられる。</p>	
3	<p>○建設地の地域特性(歴史・微小気候・地形・植生・日照)を活かした計画</p> <p>建物の温熱環境の向上は、住棟やそれを構成する住戸形態の自由度が増し、設備系を含め多様なデザインが展開できる。例えば床面積 75 m<sup>2</sup>程度の住戸は冷暖房を 10 畳用エアコン 1 台で賄い、給湯は前橋市の日照率の高さから太陽熱利用給湯システムを、調理には空気汚染の少ない IH ヒーターを用いる等換気量と熱負荷を減じ、CO<sub>2</sub> の削減に資する計画も可能だ。</p>	